

千厩浄化センターが通水開始(一関市)！！

～ 汚水処理未普及地域が解消 ～

下水環境課

一関市が整備を進めていた一関市千厩町の千厩浄化センターが完成し、平成23年6月2日に通水式を迎えました。

通水式は、現地で関係者約50人が出席し行われ、勝部一関市長の挨拶の後、藤本千厩支所長から工事報告、来賓の方々から通水を祝う祝辞がありました。

その後、関係者でテープカットを行い、勝部一関市長からの通水宣言のあと、管理汚泥棟や水処理施設などが披露されました。

位置図



テープカットの様子



管理汚泥棟

一関市千厩町では、旧千厩町時代の平成13年度から公共下水道事業に着手し、幹線管渠等の面整備を進めてきました。

平成19年度からは、浄化センターの建設が開始され、平成23年5月までに管理汚泥棟などの主要な建物と水処理施設が完成し、平成23年5月31日から供用開始となっています。

今後は、汚泥脱水機や自家発電設備などを整備し、平成23年12月を目途に第1期工事が完成する予定です。

千厩浄化センターの処理方式は、県内でも多くの実績があるオキシデーションディッチ法(OD法)が採用され、処理水は一級河川千厩川に放流されます。

千厩処理区の認可計画は、処理面積60.6ha、処理人口1,790人、処理水量は、913m³/日であり、現時点の整備区域で下水道に接続可能な面積は23.8ha、約300世帯で普及人口は691人となっています。

千厩浄化センターの完成により、一関市千厩地区における汚水処理未普及地域が解消され、快適で衛生的な生活環境の創出と公共用水域の水質保全が期待されます。

施設概要		
名称	千厩浄化センター	
所在地	一関市千厩町千厩字西小田地内	
処理場	期間	平成19年6月～平成24年5月
	工事費	約9億3百万円 (平成23年3月までの工事費)
供用開始	平成23年5月31日	
処理方法	オキシデーションディッチ法(OD法)	
処理能力	(全体)3,000m ³ /日(日最大)	
	(認可)1,000m ³ /日(日最大)	

オキシデーションディッチ法(OD法)とは??

最初沈殿池を設けずに、無終端水路(循環する水路)に機械式曝気装置を設置して下水を処理する活性汚泥法です。曝気装置は、処理に必要な酸素を供給するほか、活性汚泥を沈降させずに、無終端水路内を循環させるためのものであり、最終沈殿池で汚泥と処理水とを分離する小規模向きの処理方式です。